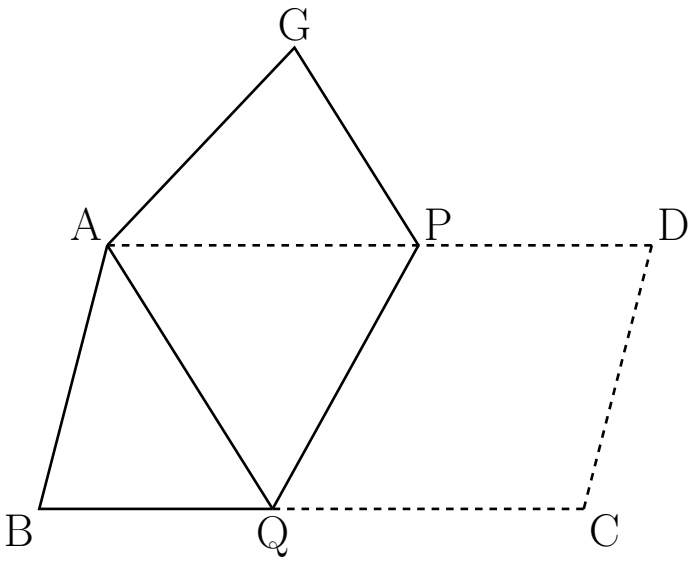
2019年度奈良県大問4−(4)

AB=6 cm, BC=12 cm, AC=12 cmの平行四辺形ABCDの紙がある。この紙を，右図のように，頂点Cが頂点Aに重なるように折り返した。折り目の線と辺AD, BCとの交点をそれぞれP, Qとし，この折り返しによって頂点Dが移った点をGとする。このとき，四角形AQPGの面積を求めよ。　〔奈良県〕